

エスプラナード赤坂商店街振興組合の今後の活動について

月一回開催されるクリーンキャンペーン、環境浄化キャンペーン(路上看板の撤去推進など)、そして古紙回収など、当組合では長年にわたって街を美しく保つための活動を続けてきました。

本年度は、これらの活動は継続しながら、赤坂地下歩道電飾看板事業の収益を計画的に赤坂の街および商店街の活性化に役立てていく方針です。



クリーンキャンペーン

昨年度の特筆すべき活動

地下歩道の清掃、地下歩道および商店街の警備員巡回等の通常活動を行うと共に、街の安心・安全の向上、商店街の認知向上を図りました。

- (1) 防犯カメラの設置・運営
- (2) 街路灯に商店組合の新たなフラッグを設置
- (3) オータムジャズコンサート20回記念イベント
- (4) 会報誌の発行



本年度の活動について

ホームページを刷新しPR活動をさらに強化。

当組合のホームページと地下歩道のPRホームページを一体化し、組合の行っている看板事業の理解促進と組合(会員様)PRの強化を図ります。一体化により、ページビューと訴求エリアの拡大を図ると共に、スマホ対応やインバウンド対策も含めた機能を拡大。より多くの方に情報を発信し、より多くの方にとって使いやすいホームページを構築していきます。また、会員相互のコミュニケーションの活性化や看板事業の広告主も含めた、幅広いコミュニティの形成を目指します。

街のにぎわい創出を積極的に推進。

現在、ランチタイムには紀尾井町から多くの方が赤坂に流れ、賑わいを見せています。こうした流れに対し、地下歩道の告知スペースにてエスプラナード赤坂通りをPRします。商店街の詳細マップを掲示、QRコードで各会員のホームページに誘導するなど、直接的な共同販促を実施していきます。また、港区との連携により「職」と「食」をつなげる活動など、地域コミュニティの活性化を目指し、効果的な集客イベントやさらなる環境美化活動も併せて計画しています。

赤坂を訪れる宿泊客へのアプローチ。

新たな顧客開拓の一環として、潜在顧客が数多く眠る赤坂エリアのホテルに、直接アプローチを行っています。商店街PRマップ、お得なクーポンブックなど、宿泊者にとって魅力的な情報を提供するツールを作成し、ホテルに置いていただけるよう積極的に仕掛けていきます。

これまでの活動のうち、継続すべきものは継続し、本年度はさらに新たな施策を実施していく予定です。現在、国交省・東京国道事務所と今後の事業に関するさまざまな取組みについて具体的に検討を重ねており、その一部をご紹介します。

会報誌の定期発行が決定。

昨年度に創刊した会報誌が、今号より年4回の定期刊行となることになりました。1月・4月・7月・10月のそれぞれ初旬に発行する予定です。赤坂の街のホットな情報や、看板事業の収益による公共事業参加など多彩な活動について報告。会員様のお店のPRの場としてもご利用いただけるように誌面を作っていきます。会員同士のコミュニケーションツールとしての機能も充実させていきますので、ファックス・メールなどでお気軽にご意見、ご要望をお寄せください。

きめ細やかなインバウンド対策を実施。

近年、赤坂にもますます訪日観光客が増えています。わがエスプラナード赤坂通りは、赤坂の玄関という立地から、積極的に外国のお客様を誘致するためのサポート事業をスタートすることにしました。

- (1) 「海外テレビ放送を配信」インターネットによるリアルタイム配信で、10ヵ国語以上の言語に対応する予定です。(モニター無料貸与などの特典付き)
- (2) 「電話による24時間365日対応の通訳サポートサービス」英語、中国語、韓国語で対応します。外国のお客様との会話で困った時の救世主となります。詳細は、近日中に会員の皆さまにお知らせいたしますので、どうぞご期待ください。



ときめきの街づくり、はじまっています。

エスプラナード

Vol.002

エスプラナード赤坂商店街振興組合
〒107-0052 東京都港区赤坂3-10-5
赤坂クインビル4階
TEL.03-5561-9125 FAX.03-5561-9128
URL: www.e-akasaka.com



2016年7月にグランドオープンし1周年を迎えた「東京ガーデンテラス紀尾井町」。赤坂エリアはどのように発展していくのでしょうか。



旧グランドプリンスホテル赤坂跡地に2016年7月27日グランドオープンした「東京ガーデンテラス紀尾井町」。オフィス・ホテル・商業施設・カンファレンスを有する「紀尾井タワー」、旧グランドプリンスホテル赤坂旧館(旧李王家東京邸)を保存・復元し歴史的価値を再構築した「赤坂プリンス クラシックハウス」、多彩なライフスタイルに対応する



賃貸住宅「紀尾井レジデンス」からなる、新旧が融合した複合市街地です。オフィスでは約8,500人もの人が働き、まさに、ひとつの街としてたくさんの方が行き交っています。開業1周年を迎え、これからの展望を「東京ガーデンテラス紀尾井町」を運営している(株)西武プロパティーズの方にお伺いしました。

キーメッセージは「品と、格と、未来と。」

江戸時代、紀伊徳川家・尾張徳川家・彦根井伊家が屋敷を構えたことに由来する由緒正しい歴史と、国際都市東京の中心という顔を持つ紀尾井町。「歴史がもたらす品格」「未来へ向かう広い視野」「訪れ、働き、暮らす一人ひとりを包む穏やかな空気」というコンセプトをキーメッセージに込めて、開業以来、それらが合わさることで生まれる新しい価値を発信しています。ショップやレストランもこのコンセプトに基づいて選ばれ、またイベントも施設全体の品格に資するテーマを取りあげ、開催しているそうです。

大人が楽しめるさまざまなイベントが開催されています。

スからご家族で参加される方もいらして、思い思いに楽しんでいらっしゃるのか。今後も知的好奇心を刺激し、生活に豊かさを与える数々のイベントを企画していく予定で、7月は「KIOI STYLE」をテーマに一周年記念イベント「KIOI STYLE～MA-TSU-RI～(7/21～31)」を開催するそうです。



地元の方々に愛される場を目指し、紀尾井町・赤坂を盛り上げていきたい。

「私たちは地元の方々に愛される場所を目指しています」そうおっしゃるのは(株)西武プロパティーズの関根シニアマネジャー。日枝神社のお祭りにはお手伝いはもちろんのこと、紀尾井タワー2階オフィスエントランスに神社の歴史を展示し、昨年はお神輿を敷地内に迎え入れたそうで、地元との関わりを

でも大切にしていってほしいのか。かえり、思えば、これは一つのエリアとして共に盛り上げていきたいと思っています」そんな言葉が印象的でした。

紀尾井町と赤坂は、赤坂地下歩道が架け橋となって結ばれています。また、「おしゃれな散歩道」をコンセプトに大人に似合う街づくりを目指すエスプラナード赤坂商店街振興組合と、どこか共通点があるように感じます。私たちもこの地の歴史を大切にしながら、共によりよい街づくりを進めていきたいと気持ちを新たにしました。

| |
|-----------------------|
| [DATA] |
| 東京ガーデンテラス紀尾井町 |
| 所有者:株式会社西武プロパティーズ |
| 所在地:東京都千代田区紀尾井町1-2他 |
| 敷地面積:約30,400㎡ |
| 延床面積:約227,200㎡ |
| 主用途内訳: |
| 【紀尾井タワー】 |
| ・オフィス 約110,000㎡ |
| ・ホテル 約28,700㎡(客室250室) |
| ・カンファレンス 約1,100㎡ |
| (最大約470名収容可能) |
| ・ショップ&レストラン 約10,800㎡ |
| 【紀尾井レジデンス】 |
| 住宅 約22,700㎡(135戸) |

掲載ご希望の会員様募集中! 「エスプラナード」に掲載をご希望の会員様を募集しています。編集スタッフが貴店へお伺いし、取材をさせていただきます。会員様の費用は無料となっておりますので、どうぞお気軽にお申込みください。

NEWS

四半世紀という節目の総会を迎え、 より快適で活気あふれる、おしゃれな大人の街を目指して。

2017年6月7日(水)15時より、赤坂クインビル4階クインルームにて「エスプラナード赤坂商店街振興組合」の第25回通常総会が開催されました。ハガキによる事前の委任状とご参加いただいた会員の皆さまを合わせ過半数以上の賛成を得て、前期報告・今年度の活動計画が無事承認されました。

今回は、第25回の節目ということから事前アンケートを実施し、会員の皆さまから広くご意見をいただきました。回答数はまだまだ少なかつたものの、率直なご意見を聞くことができ、とても有意義なものとなりました。また、フレッシュな会員様に総会にご参加いただいたことも、未来へつながるものとして非常に歓迎されました。今年度は、2013年より手がけている赤坂地下歩道電飾看板事業において、予想をはるかに上回る収益がありました。そのため、確定申告上の欠損金が消えて、当組合始まって以来の法人税を納めたこともお知らせいたします。

赤坂地下歩道電飾看板事業で得た収益は、赤坂地下歩道の清潔な維持管理や防犯対策の促進、赤坂の地域活性化などのために活用することが大原則となっています。アンケートでもご要望の多かったイベントの実施や集客力アップという課題により力を入れて取り組み、今年度の方針については、国交省・東京国道事務所と話し合いのもと、有意義な活動を計画的に増やしていきます。



Visit of member

会員様訪問

002

やさいや鉄板焼野菜
赤坂店



鉄板焼はとてもシンプルな料理。
美味しく召し上がっていただくために
こだわりを持って
食材を選んでいきます。

エスプラナード赤坂通りのほぼ中央に位置する赤坂ベルゴの1階にある「やさいや鉄板焼野菜」。四季折々の野菜をはじめ、こだわりの海鮮や和牛がいただけると評判です。お店を率いる笹部祐佳里氏(写真右)と井ノ口佑亮店長(写真左)に、食材への思いやこれからの目標などについてお話を伺いました。

農家さんに向き、
深く学ばせていただいています。

「私がやさいや鉄板焼野菜の運営会社の代表取締役役に就任してから、約6年が経ちました。この間、さまざまなことにチャレンジしてきました」とおっしゃる笹部氏。まずは、野菜に変化をつけていこうと考え、九州・宮崎から東北の青



森・秋田、京都などさまざまな農家さんをまわり、その土地の空気を感じ、農家さんから野菜の美味しさを最大限に引き出す方法などを学ばせていただいたのだそうです。そんな中で出会ったのが、埼玉県・上里の農家さんが作る、糖度15度

を超える「軌跡のトマト」。そのトマトをどうしてもお店で出したいと思い、何度も足を運び、やがて卸していただけるようになったそうです。

理想は、お店で使う
野菜を自分たちで作ること。
時には、畑を耕すことも。

農家さんとのつながりができ、仕入れを工夫することで、こちらのお店では、ほとんどの野菜が国産となっています。「あたりまえのことですが、お店でお出しするメニューの安心安全をしっかりと守っていき」笹部氏と井ノ口店長は口を揃えてそうおっしゃいます。今後は、無農薬野菜にもこだわり、でき



です」と笹部氏。井ノ口店長は「これからもホスピタリティあふれる接客を大切に、お店の魅力を高めていきたい」とおっしゃいました。

5年、10年経っても
国産の美味しい野菜が
食べられるお店でありたい。

れば、お店で使う野菜を自分たちの手で作りたいという思いから、ニンジンの栽培を始めたとのこと。笹部氏は、埼玉県・上里のトマト農家さんに教えていただきながら、畑を耕すこともあるそうです。

お店を作るのは、やはり「人」。
スタッフ全員で魅力あふれる
お店づくりを目指して。

心からのおもてなしができる「人」がいてこそ、料理はより美味しく感じられるもの。「私は、店長をはじめお店のスタッフにとっても恵まれています。安心して任せられるスタッフがいるからこそ、東京を離れて農家さんをまわる事ができるの

[SHOP DATA]

やさいや鉄板焼野菜 赤坂店
東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴ1F
03-3560-3131
営業時間 / Lunch 月～金 11:30～15:00 (L.O. 14:30)
Dinner 月～金 18:00～翌4:00 (L.O. 3:00)
土 17:00～翌3:00 (L.O. 2:00)
定休日 / 日・祝日



Column

理事長コラム

vol.2

違法駐車問題への 取り組み

赤坂の違法駐車対策に
取り組んだことが、
国土交通省とご縁ができる
きっかけになりました。

以前の赤坂はとても違法駐車が多く、当時の雑誌「日経リアルエステート」では、港区が違法駐車ワーストワンとされていたほどでした。赤坂地区に立地する大手企業の方で、街づくりに関心のある有志で構成される「トーク赤坂21」でこの問題を取り上げた際、「駐車場が少ないことに根本的な問題があるのでは」という意見が出ました。銀座、新宿、渋谷、池袋など繁華街にはいずれも公共駐車場があり、赤坂にも必要だと当組合でも意見が一致しました。

その後、「トーク赤坂21」のメンバーから赤坂見附の交差点に近い地下にコンクリートで囲われた大きな穴があるという情報をいただきました。そこは、赤坂も含め都心の幹線道路で行われていた地下協同溝工事の資材置き場として使われており、工事が終われば規則で埋め戻されるとのことです。私たちは、「埋め戻さずに公共駐車場に転用してほしい」と切実に思いました。

その場所は国道の直下にあたり、いうまでもなく管轄は国にあります。一度当たってみるしかないと、メンバー2人に一緒にいただき3人で建設省(現国土交通省)に出かけました。建設省(現国土交通

省)では駐車場対策室に案内され、駐車場対策専門官であるSさんが私たちの話を聞いて現場を見に来てくださることになりました。

現場でより具体的な提案ができるよう「トーク赤坂21」のメンバーにマスタープランとなるラフ図面を作ってもらい、検証にいらしたSさんに説明をしました。Sさんは現地をひと歩きし「個人的興味は覚えます」とおっしゃって帰っていかれました。私たちは正直がっかりしてしまいました。公的には興味ない、できない相談だ…ということを意味していると思ったのです。

それから3年ほど経ったある日のこと。突然、「3年前、駐車場対策室にいたSです」と電話がかかってきました。「今度、東京国道事務所長に赴任しましたので、あなたの宿題を果たすことにしました。記者発表の内容をファックスします」と。そのペーパーを見て本当に驚きました。3年前に作った駐車場のマスタープラン通りの図面が載った、新聞発表用のリリースだったのです。

Sさんは、3年前に柔軟な頭脳で私たちの提案を受け止めてくださったのです。それを実現できる権限のある役職に就くやいなや、

建設省(現国土交通省)はじまって以来のプランを実現することを決定し、一気に新聞発表までなされたのです。私は本当に驚き、そして感激しました。Sさんにすぐにお礼の電話を差し上げたのはもちろんですが、嬉しくて「トーク21」のメンバーや当組合の方々にもすぐに伝えました。

こうして地下公共駐車場の建設工事が始まり、3年半ほどの年月を経て1997年に完成しました。以来、赤坂の街の違法駐車軽減の一翼を担っています。

この地下駐車場の件は、当組合が国土交通省とご縁ができるきっかけにもなりました。当組合が法人格であったことから、のちに国土交通省・東京国道事務所より赤坂地下歩道「エスプラナード・エトワール」の電飾看板事業の運営・管理を委託されることにつながっていったのです。



エスプラナード赤坂商店街振興組合
城所ひとみ

TOPICS

PART 1

赤坂地下歩道では、老朽化により多数の電球が切れていましたが、6月中旬に照明交換工事が実施されました。国交省により蛍光灯および安定器の交換など抜本的な工事が行われ、明るさが戻り快適に通行できるようになりました。

PART 2

現在、港区赤坂支所の協働推進課にご協力いただき、エスプラナード赤坂商店街振興組合の新規会員募集活動を行っています。この春には、エスプラナード通りにある大手チェーン店の本社宛に港区協働推進課と連名でDMを発送。この中で反応のあった企業様へ、港区協働推進課の方にご同行いただいております。当組合の取組みや港区のバックアップなどについて説明させていただきました。この地道な活動により、2社、3社と少しずつではありますが、お仲間が増えていきます。